

令和6年度 ゾーン30プラスへの取り組みについて

令和6年7月

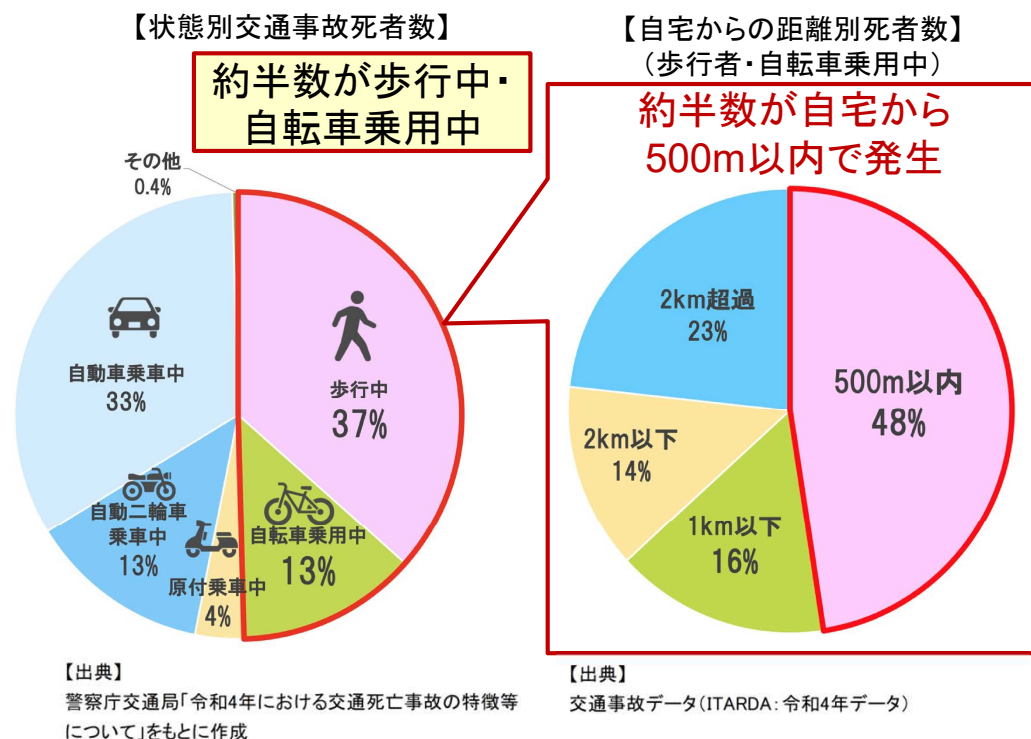
目次

1. 生活道路の交通事故の実態
2. ゾーン30プラスの取り組み
3. 整備計画案(雫石町雫石小学校地区)
4. 効果検証の手法（盛岡市西見前地区）
5. 効果検証の手法（盛岡市向中野地区）
6. 今後のスケジュール

1. 生活道路の交通事故の実態

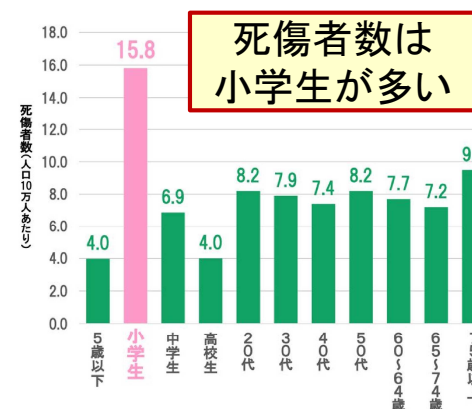
- 交通事故による死者のおよそ半数が身近な道路で発生。
- 生活道路の交通安全対策の推進が強く求められている。

■ 死亡事故の発生状況

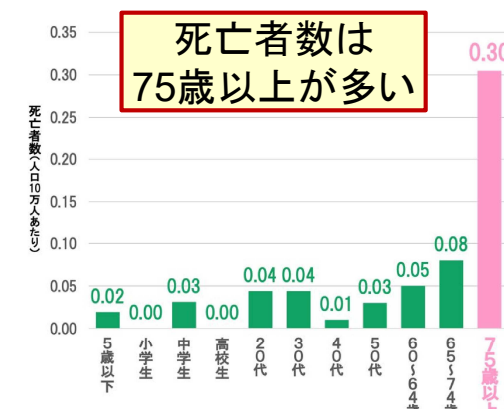


■ 死傷者・死亡者の年齢層

【人口10万人あたりの年齢層別死傷者数】
(令和4年)



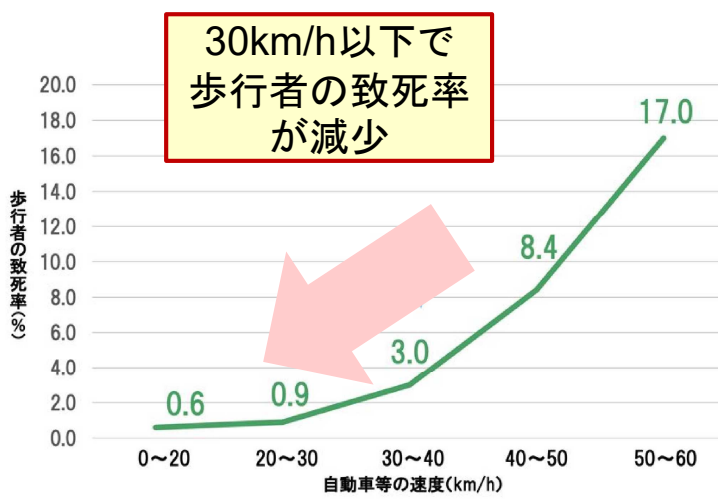
【人口10万人あたりの年齢層別死亡者数】
(令和4年)



2. ゾーン30プラスの取り組み

- 交通生活道路では衝突速度を30km/h以下で致死率が大幅に減少することから、**最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組合せ**により交通安全の向上を図ろうとする区域を「**ゾーン30プラス**」として設定。
- 道路管理者と警察が連携し、地域住民等の合意形成を図りながら、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を整備。

■ 衝突速度と歩行者の致死率



【出典】
警察庁資料より作成

※1 「自動車等」とは、自動車、自動二輪及び原動機付自転車という。

※2 平成29年から令和3年までに車道幅員5.5m未満の道路の単路で発生した人対車両事故の分析による。

※3 致死率とは、死傷者数に対する死者数の割合をいう。

■ 「ゾーン30プラス」の対策

警察による低速度規制(ゾーン30)

ゾーン30 (都道府県公安委員会)

● 進入抑制対策
● 速度抑制対策

道路管理者による物理的デバイス設置

● 進入抑制対策

ライジングボラード

ハンプ

スムーズ横断歩道

● 速度抑制対策

狭さく

クランク

スラローム

ゾーン30プラス

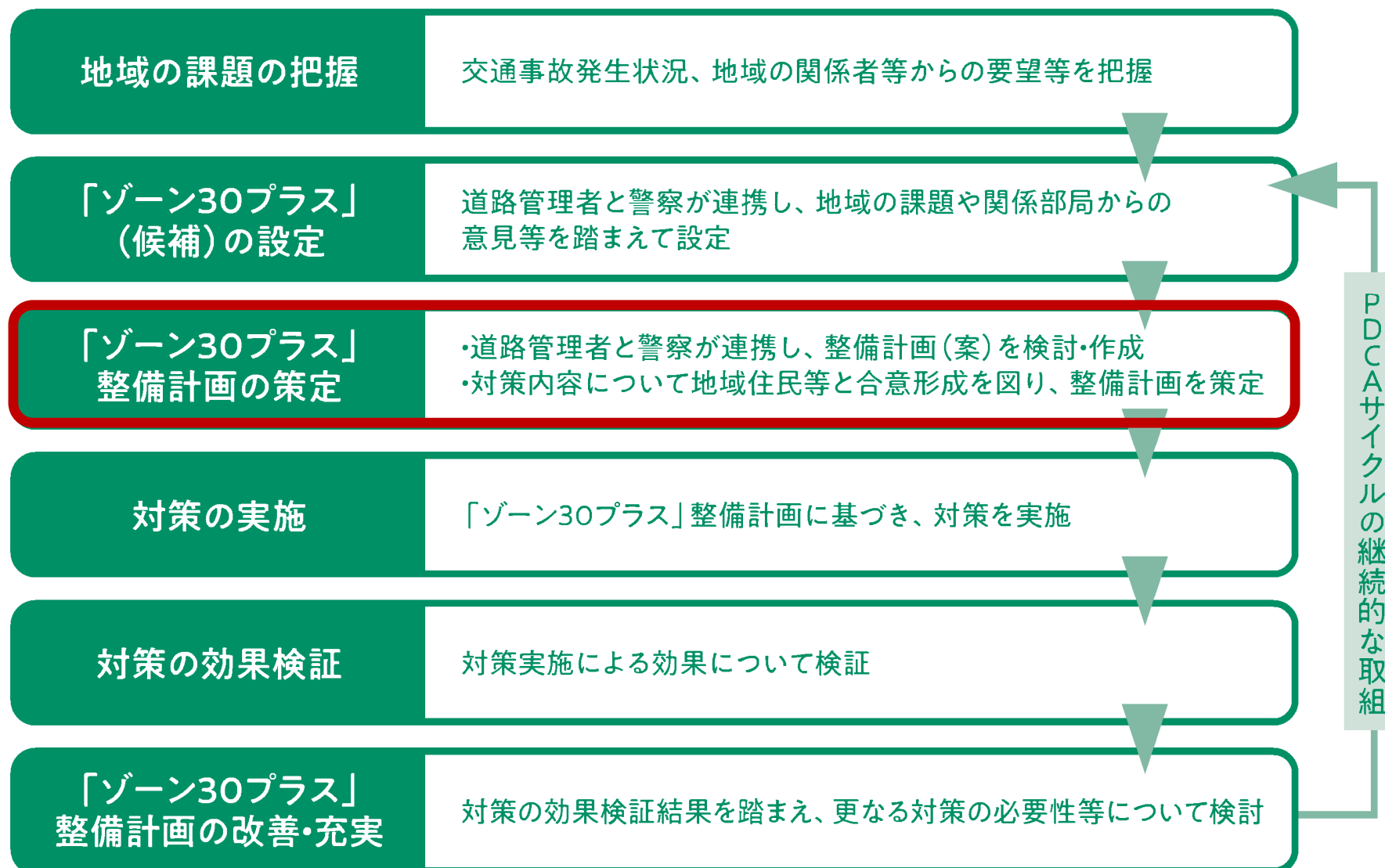
看板

路面標示

3. 整備計画案(雫石町雫石小学校地区)

- 雫石町雫石小学校地区では、地区住民と合意された、対策メニュー及び設置位置を検討し、**整備計画案を作成**した。

■ 取り組みの段階



3. 整備計画案(雫石町雫石小学校地区)

- 雫石町雫石小学校地区は、周辺に雫石小学校と雫石駅がある住宅街である。
- 現時点では、ゾーン30エリアに指定されていない。

■ 箇所概要



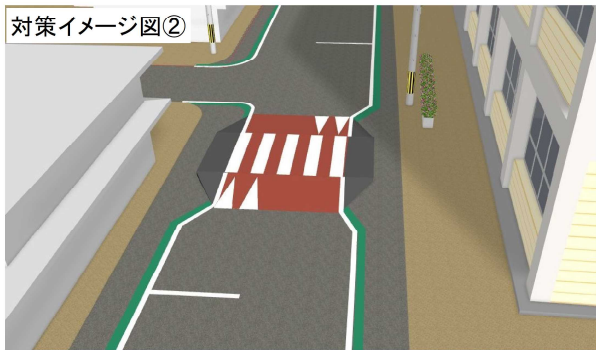
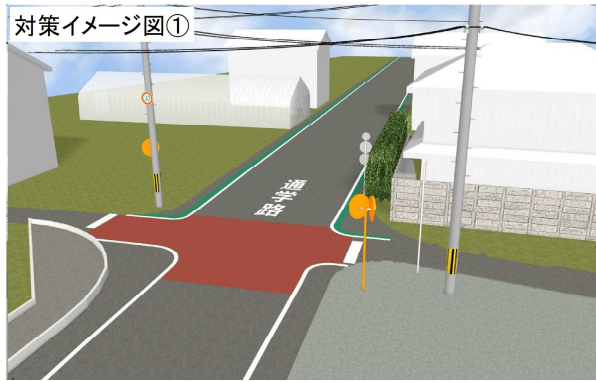
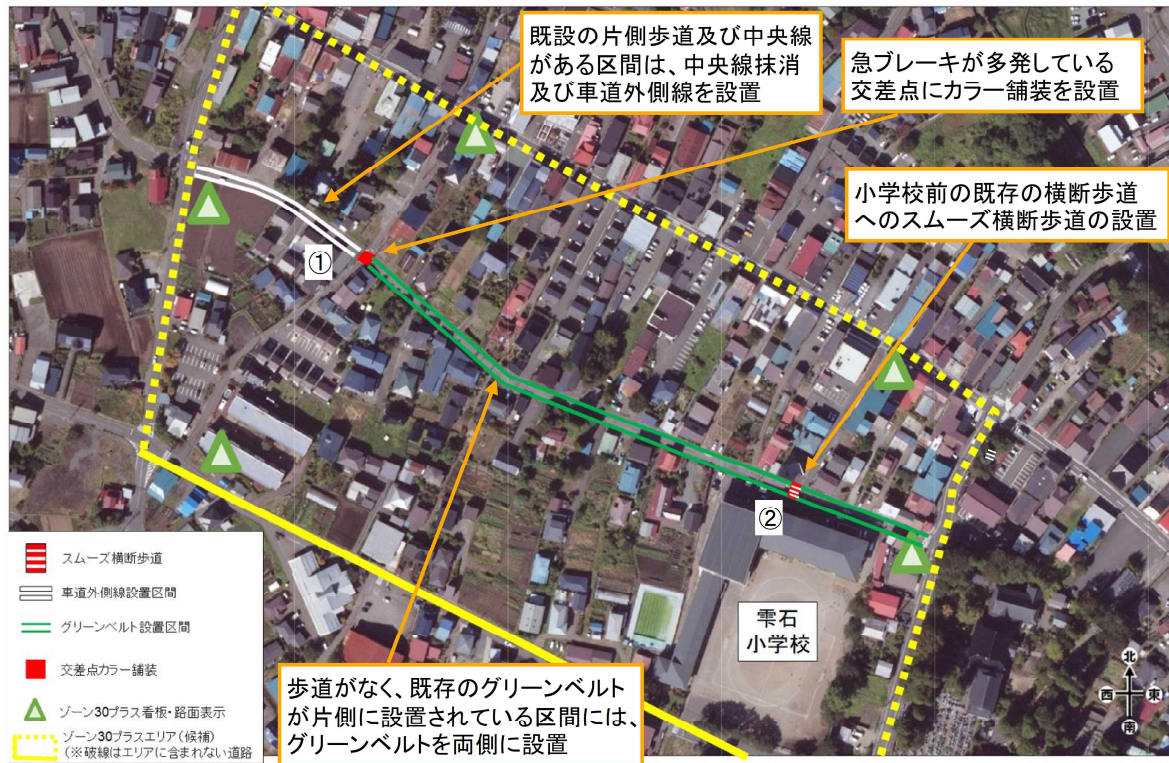
ゾーン30プラスエリア(候補)の設定

3. 整備計画案(雫石町雫石小学校地区)

- 雫石町雫石小学校地区の「ゾーン30プラス」整備計画案は、雫石小学校周辺をゾーン30プラスエリアに指定し、物理的デバイス等の対策を実施する計画である。
- 次回、地域住民との合意形成された整備計画を策定する予定である。

課題	対策方針	対策メニュー
【雫石小学校前の町道】 ➢ 急ブレーキ・急ハンドルが連続して発生している ➢ 30km/h超過割合が20%以上の箇所がある ➢ 県道212号から進入して、再度県道212号に戻る経路をとる車両が多く、雫石小学校で児童の車による送迎等での利用が多いと想定される	自動車の走行速度の抑制及び通過交通の抑制	スムーズ横断歩道※ 中央線の抹消及び車道外側線の設置
	歩行者の通行空間の明確化	グリーンベルトの設置
	注意喚起	交差点カラー舗装

※物理的デバイスの設置においては、冬期において、除雪の障害にならないように、取り外し可能な構造とする



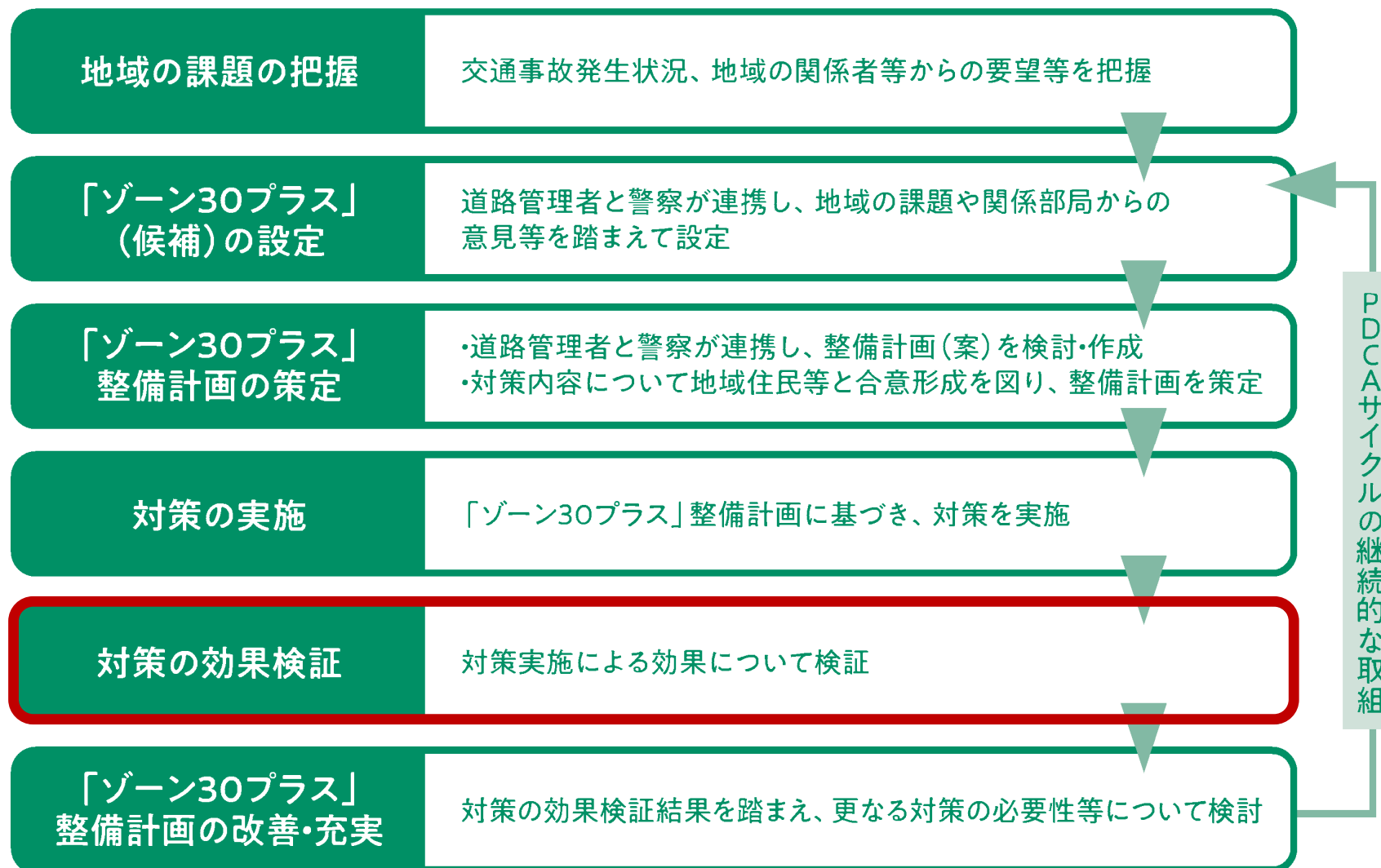
(国土地理院地図空中写真をもとに作成)

対策メニュー検討結果

4. 効果検証の手法（盛岡市西見前地区）

- 盛岡市西見前地区では、**対策の効果検証**を実施する。
- 実施した対策について、**ETC2.0プローブ分析・車両速度調査・アンケート調査**を組合せた検証を予定している。

■ 取り組みの段階



4. 効果検証の手法（盛岡市西見前地区）

- 盛岡市西見前地区は、見前小学校周辺の「ゾーン30プラス」エリアであり、エリア内では当該小学校指定の通学路が存在する。
- 令和4年度に整備計画が策定され、**令和6年11月に全ての短期対策が完了予定。**

■「ゾーン30プラス」整備計画

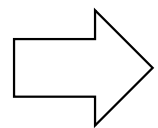
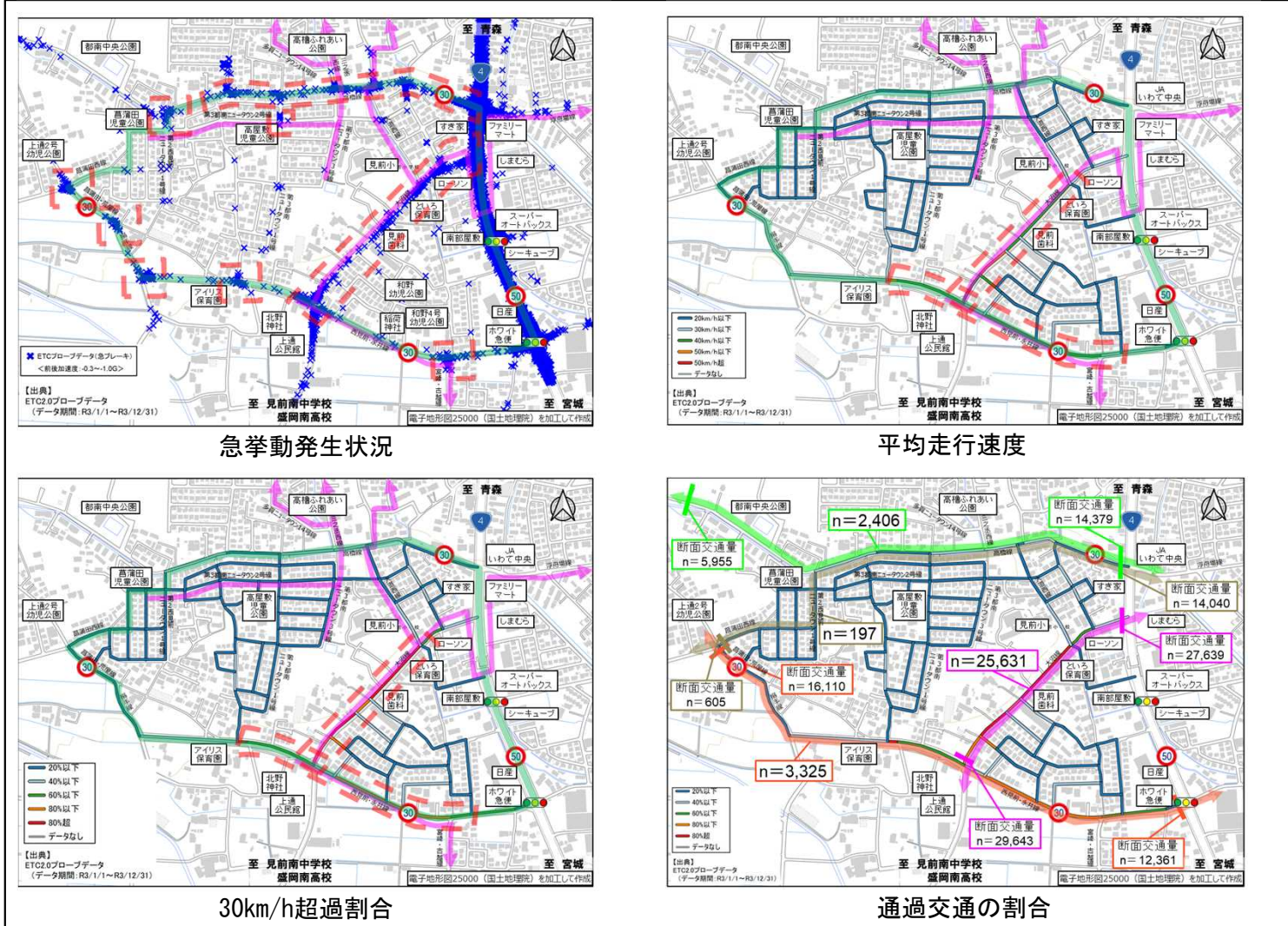


4. 効果検証の手法（盛岡市西見前地区）

- ETC2.0プローブデータを用いて、対策エリア内の急挙動、走行速度、通過交通など、対策前後の比較検証を行う。

■ 検証手法①: ETC2.0プローブデータによる分析

対策前の分析結果(R3データ)



対策実施後について
分析を実施し、対策
前後の比較による効果
検証を行う

4. 効果検証の手法（盛岡市西見前地区）

- 見前小学校、地元住民を対象に、当該地区の安全性・安心感の向上について、アンケート調査を実施する予定である。
- 次回、効果検証の結果を報告する予定である。

■ 検証手法②: アンケート調査

調査目的	・ゾーン30プラス整備による、自動車の速度抑制等に伴う、 <u>安全性の確保・安心感の向上</u> を確認
調査概要	・見前小学校、地元住民関係者による安全性・安心感の向上をアンケート調査
調査対象者	・見前小学校 児童・保護者、教職員 ・地元住民 地元地区自治会長(3地区)、見守隊(2地区)
調査期間	短期対策完了後速やかに実施
調査項目	【アンケート調査】 ・対策箇所の利用の有無・移動手段 ・対策の認知度 ・安全性、安心感の変化 ・対策の満足度 ・ゾーン30プラス整備事業に関する意見・要望等

質問 10：狭さが設置されたことで、歩行時にその他、感じたことがあれば教えてください（お子様のご視点でお答えください）（自由記述）

質問 11：交差点カラー舗装の設置によって、歩行時に、どのような効果があったと思いますか（お子様のご視点でお答えください）

質問	そう思う	やや そう思う	変わ らない	あまり そう 思わない	そう 思わない
自動車が交差点で注意して走行するようになり、安全・安心に歩行できるようになった	1	2	3	4	5

質問 12：交差点カラー舗装の設置がされたことで、歩行時にその他、感じたことがあれば教えてください（お子様のご視点でお答えください）（自由記述）

質問 13：ゾーン 30 プラス看板・路面表示の設置によって、歩行時に、どのような効果があったと思いますか（お子様のご視点でお答えください）

質問	そう思う	やや そう思う	変わ らない	あまり そう 思わない	そう 思わない
自動車の速度が落ち、安全・安心に歩行できるようになった	1	2	3	4	5

質問 14：ゾーン 30 プラス看板・路面表示の設置がされたことで、歩行時にその他、感じたことがあれば教えてください（お子様のご視点でお答えください）（自由記述）

質問 15：今回実施した対策によって、歩行時に、総合的にどのような効果があったと思いますか（お子様のご視点でお答えください）

質問	そう思う	やや そう思う	変わ らない	あまり そう 思わない	そう 思わない
地区全体で、安全・安心に歩行できるようになった	1	2	3	4	5

質問 16：今回実施した対策によって、歩行時に、総合的にその他、感じたことがあれば教えてください（お子様のご視点でお答えください）（自由記述）（自由記述）

質問 17：お子様は普段、安全対策が行われた地区を自転車で利用しますか

1. 利用する 2. ほとんど利用しない

質問 18：狭さが設置されたことで、自転車での走行時に、どのような効果があったと思いますか（お子様のご視点でお答えください）

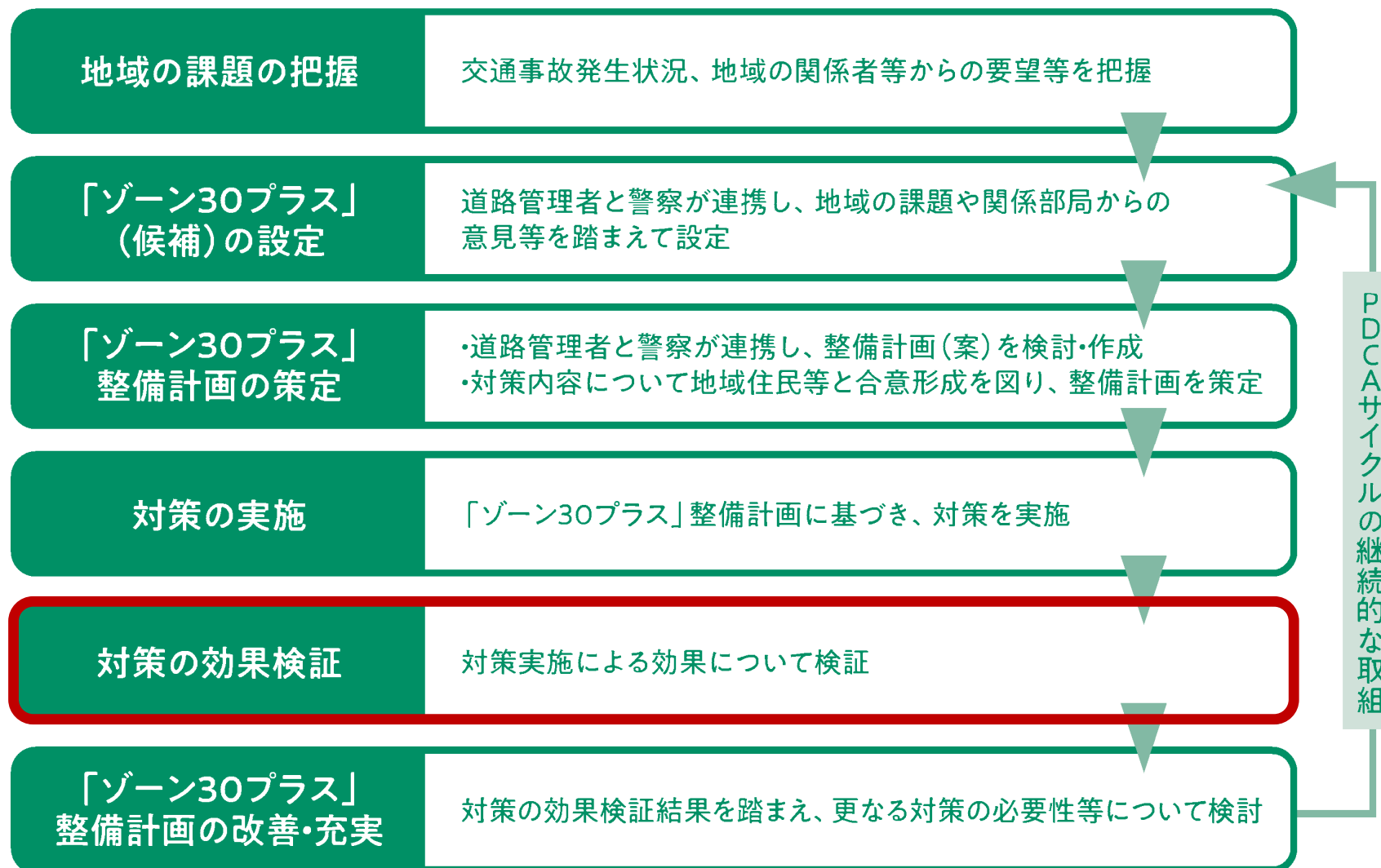
質問	そう思う	やや そう思う	変わ らない	あまり そう 思わない	そう 思わない
自動車の速度が落ち、安全・安心に自転車で走行できるようになった	1	2	3	4	5

調査票（例）

5. 効果検証の手法（盛岡市向中野地区）

- 盛岡市向中野地区では、**対策の効果検証**を実施する。
- 実施した対策について、**ETC2.0プローブ分析・アンケート調査**を組合せた検証を予定している。

■ 取り組みの段階



5. 効果検証の手法（盛岡市向中野地区）

- 盛岡市向中野地区は、向中野小学校周辺の「ゾーン30プラス」エリアであり、エリア内では当該小学校指定の通学路が存在する。
- 令和4年度に整備計画が策定され、**令和6年11月に全ての短期対策が完了予定。**

■「ゾーン30プラス」整備計画

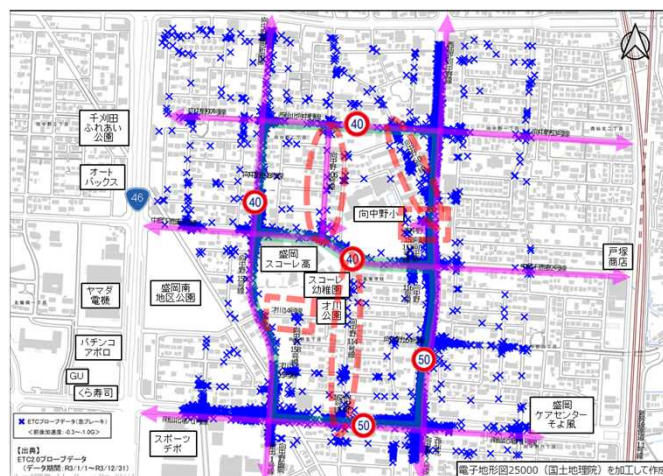


5. 効果検証の手法（盛岡市向中野地区）

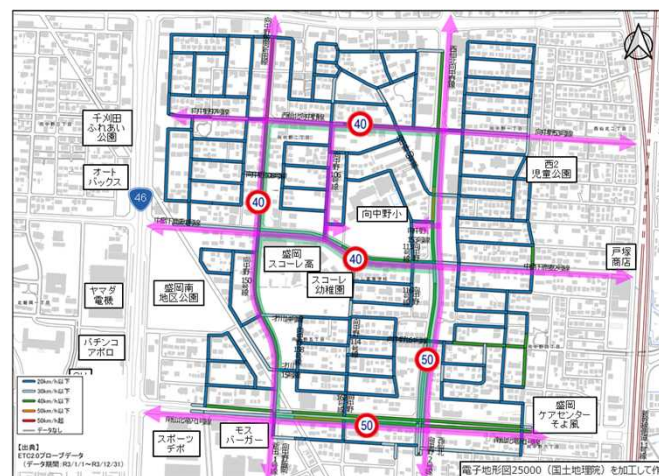
- ETC2.0プローブデータを用いて、対策エリア内の急挙動、走行速度、通過交通など、対策前後の比較検証を行う。

■ 検証手法①: ETC2.0プローブデータによる分析

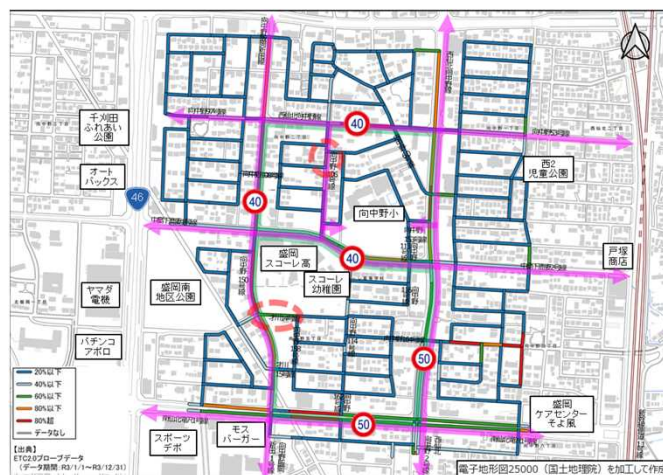
対策前の分析結果(R3データ)



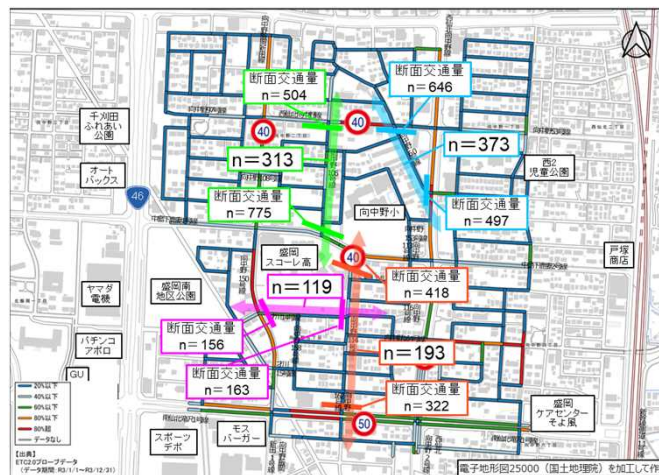
急挙動発生状況



平均走行速度



30km/h超過割合



通過交通の割合

対策実施後について
分析を実施し、対策
前後の比較による効果
検証を行う

5. 効果検証の手法（盛岡市向中野地区）

- 向中野小学校、盛岡スコーレ高等学校、地元住民を対象に、当該地区の安全性・安心感の向上について、アンケート調査を実施する予定である。
- 次回、効果検証の結果を報告する予定である。

■ 検証手法②：アンケート調査

調査目的	・ゾーン30プラス整備による、自動車の速度抑制等に伴う、 安全性の確保・安心感の向上 を確認
調査概要	・向中野小学校、盛岡スコーレ高等学校、地元住民による安全性・安心感の向上をアンケート調査
調査対象者	- 向中野小学校 児童・保護者、教職員 - 盛岡スコーレ高等学校 生徒、教職員、事務職員 - 地元住民 地元地区区長(2地区)
調査期間	短期対策完了後速やかに実施
調査項目	【アンケート調査】 - 対策箇所の利用の有無・移動手段 - 対策の認知度 - 安全性、安心感の変化 - 対策の満足度 - ゾーン30プラス整備事業に関する意見・要望等

質問 10：狭さが設置されたことで、歩行時にその他、感じたことがあれば教えてください（お子様のご視点でお答えください）（自由記述）

質問 11：交差点カラー舗装の設置によって、歩行時に、どのような効果があったと思いますか（お子様のご視点でお答えください）

質問	そう思う	やや そう思う	変わ らない	あまり そう 思わない	そう 思わない
自動車が交差点で注意して走行するようになり、安全・安心に歩行できるようになった	1	2	3	4	5

質問 12：交差点カラー舗装の設置がされたことで、歩行時にその他、感じたことがあれば教えてください（お子様のご視点でお答えください）（自由記述）

質問 13：ゾーン 30 プラス看板・路面表示の設置によって、歩行時に、どのような効果があったと思いますか（お子様のご視点でお答えください）

質問	そう思う	やや そう思う	変わ らない	あまり そう 思わない	そう 思わない
自動車の速度が落ち、安全・安心に歩行できるようになった	1	2	3	4	5

質問 14：ゾーン 30 プラス看板・路面表示の設置がされたことで、歩行時にその他、感じたことがあれば教えてください（お子様のご視点でお答えください）（自由記述）

質問 15：今回実施した対策によって、歩行時に、総合的にどのような効果があったと思いますか（お子様のご視点でお答えください）

質問	そう思う	やや そう思う	変わ らない	あまり そう 思わない	そう 思わない
地区全体で、安全・安心に歩行できるようになった	1	2	3	4	5

質問 16：今回実施した対策によって、歩行時に、総合的にその他、感じたことがあれば教えてください（お子様のご視点でお答えください）（自由記述）（自由記述）

質問 17：お子様は普段、安全対策が行われた地区を自転車を利用しますか
1. 利用する 2. ほとんど利用しない

質問 18：狭さが設置されたことで、自転車での走行時に、どのような効果があったと思いますか（お子様のご視点でお答えください）

質問	そう思う	やや そう思う	変わ らない	あまり そう 思わない	そう 思わない
自動車の速度が落ち、安全・安心に自転車で走行できるようになった	1	2	3	4	5

調査票（例）

6. 今後のスケジュール

- 今回は、各地域の取り組み段階に応じて、整備計画案、効果検証手法を審議した。
- 次回は、整備計画の策定、効果検証の結果についての報告を予定している。

■スケジュール(案)

時 期	内 容
令和6年7月16日～26日 (第1回安推連(書面))	• 整備計画案の審議(雫石町雫石小学校地区) • 効果検証手法の審議(盛岡市西見前地区) • 効果検証手法の審議(盛岡市向中野地区)
令和7年2月予定 (第2回安推連)	• 整備計画策定の報告(雫石町雫石小学校地区) • 効果検証の結果の報告(盛岡市西見前地区) • 効果検証の結果の報告(盛岡市向中野地区)
令和7年度以降	• 継続的に審議予定